



今回のガイド  
いけだ ひさひろ  
池田 久浩さん

鳥海やわたインタープリター協会所属。生まれも育ちも八幡。「高校で山岳部に入り、山の虜に。冬山合宿もあったので鍛えられました」。

「時よ止まれ。お前は美しい」  
ドイツの文豪・ゲーテの代表作『ファウスト』。そのクライマックスで、主人公ファウストが叫ぶせりふだ。最も美しい瞬間を、ずっと留めておきたいというのは、人類が永い間抱えてきた欲望だった。近代になって、その願いが叶えられた。カメラの発明によって、美しい人や風景を分かち合うことが簡単になった。同時に、私たちは、美しい瞬間を自分の手で捉えたいと追い求めるようになった。

今回のガイド、池田久浩さんは八幡地区の中に10カ所ほどの「定点」を決め、毎週の変化を撮影している。八幡のカメラマンだ。私たちはその撮影の一部に同行させていただいた。

「ここが最初の撮影ポイントです」。私たちがまず訪れたのは、玉簾の滝。1200年前に弘法大師が神のお告げで発見したといわれる名所だ。入口に立つ鳥居にはブルーシートが巻かれている。「このシートは雪囲いです。

## 風景画のような冬の里山



玉簾の滝(水瀑)



鶴間池

第5回 庄内みどころ **再**発見

# うきうき八幡 絶景めぐり

Supported by 庄内広域行政組合



数河の池



鳥居の石を組んだ部分に水が入ると、凍った時に膨張して、上の方が落っこちてきてしまうんです」。狛犬には蓑が被せられ、滝の前にある御嶽神社も四方を板で囲われて、冬支度の嚴重さがこの地域の雪深さを物語る。銀杏の葉がすべて落ちた後の境内は、光が差し込んで明るい。裸の木々も、黒く濡れた石畳に黄色い葉が散らばった参道も、雪に覆われる前の最後の日光浴を楽しんでいるようだ。

落差63メートル、幅5メートルの滝が絶壁から流れ落ちるさまは、まさに壮観。天保九年にここを探勝した白井千代梅が「雲いより落くる瀧の水かみはそらにながるあまの川かも（あまりの高さから落ちてくるので、滝の水は空を流れる天の川かと思われるほどである）」と感動を歌に詠んだとされるが、なるほど、ほとばしる水しぶきが無数の星のように見える。「この滝は北西を向いているので、今の時期だと9時頃に滝の後ろから光が当たって、とてもきれいに撮影できますよ」。方角まで覚えていてなんて、さすが八幡のカメラマン！興奮する私



不動の滝



升田奥山より

鳥海山の裾野に広がる酒田市八幡地区は、山からの水に恵まれて滝や池が多いところ。初冬の晴天の下、自然の造形美を満喫してきました。

年の数だけ石で叩くと願いが叶うとされる「ぼんぼん石」。持つ手に思わず力が入ります。1、2、3…。



なんと神社にも雪囲い！扉を開けてお賽銭をチャリン。

山形県内で最大！落差63mの玉簾の滝。真冬の氷瀑も見ごたえアリ！



# 耳より、八幡かわら版

見る食べる泊まる、まだまだいっぱい！  
八幡の見どころ教えます。



鳥海イヌワシみらい館  
マスコットキャラクター  
ワッシーくん



## 鳥海山荘

標高500mに位置し、北に鳥海山山頂、南に月山や日本海を望む温泉宿。露天風呂と家族風呂があり、日帰り入浴も可能。夏は鳥海山登山のベースキャンプとして人気。



## 手打ちそば 鳳来

地元産のそば粉を100%使用した「特製生粉そば」1500円。香りとコシがあって美味しい。



## 大台野そば

大台野地区にある、土日のみ営業しているそば店。自宅を改装したような店構え。



## 鳥海高原 家族旅行村

標高500mの高原でケビンやツリーハウスに宿泊。そば打ちやグラウンドゴルフ、溪流釣り、ピクニック広場など、ファミリーでたっぷり楽しめる。12~3月は休業。



## 鳥海イヌワシみらい館

イヌワシなどの希少な猛禽類の調査研究、保護推進を行う拠点。館内には国内に生息する約30種のワシタカ類について解説したコーナーや、剥製の展示コーナーなどがある。



防寒具はミノ!



## いなカフェ 白山

農協の建物を改装したカフェ。ロゴマークになっている黒柴犬が出迎えてくれる。メニューはコーヒー、三元豚タコライス、米粉ピザ、コロナパフェなど。12~3月は休業。



## 八幡の名産といえば!

### 鳥海高原ヨーグルト

鳥海高原牧場のおいしい水と空気、ストレスのない環境で育まれた新鮮生乳のヨーグルト。添加物を使わず、口あたりは濃厚で、後味はすっきり爽やか。



美しい水色に導かれて、茂みに分け入っていく池田さん。

ちに、池田さんは言葉が続ける。「さあ、次は数河の池です。今日はこの調子だと、青い池が撮れるかも。」

彼方から響く鳥の声に  
気づく静けさ

次なる定点、数河の池は、大正5年に農業用水のため池として造られた場所。周りには木々が植えられ、豊かな森となっている。「空が青いと池が青くなるんです。今日はきれいですね。あの東屋を入れると絵になるんですよ。」池田さんは我慢できないといったように素早くカメラを取り出して、撮影を始めた。被写体にどんどん近づいていく。私もスマホで撮ってみる。確かに良い感じだ。もっといういろいろと試したくなって、弁天様が祀られた島や池の対岸まで、シャッターを切りながら歩いていった。鳥海高原牧場、交点、おそば屋さんの鳳来を訪れ、最後のスポットは開運出世の滝と呼ばれる不動の滝。神社の祭神に「建内宿禰(たけうちのみすくね)」という学問の神様を祀っているた

め、受験シーズンには多くの学生が合格祈願に詣でるそうだ。玉簾の滝が直線的なのに対して、こちらは末広りのシルエット。弾けるような水勢が凛々しく、私たち3人は何度もカメラを向けていた。

備えて、待つ。雪深い  
地域の暮らしのあり方

行く先々のすべてが絵になることに驚いたが、実はそこに秘密があった。「私の定点は、車で簡単に行けて、絵になる風景が撮れる場所を選んでいっているんです。私の写真に興味を持った人が自分でも撮れると思えば、八幡に来てくれるので」。撮影欲を刺激して、八幡に人を呼び込む。カメラマンの池田さんらしい、シンプルでユニークな観光プロモーションなのだ。そうして、晴れの日も雪の日も、池田さんはカメラを片手に八幡の美しい瞬間を拾い集めているのだろう。少年のように、瞳をきらきらと輝かせながら。

編集・文||松本 典子 写真||岡 真由美  
協力写真提供||酒田市八幡総合支所建設産業課

## 最新 イベント情報

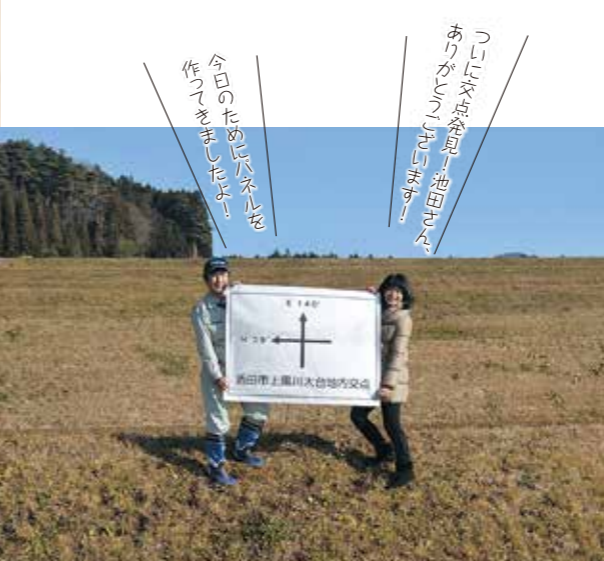
### 冬の八幡へ遊びに行こう!

#### 氷瀑の玉簾と「滝の里」冬満喫体験

- 日時 2/1(日)8:30 希望ホール正面入口前集合
- 場所 酒田市升田 玉簾の滝
- 定員 先着20名
- 費用 1,500円(昼食代他)
- 締切 1/23(金)
- 問 19時~21時のみ対応、事務局池田まで☎0234-64-4495

#### かんじきでスノートレッキング 鳳来山なんでも探険(鳥海山南麓)

- 日時 3/1(日)8:00 希望ホール正面入口前集合
- 対象 小学校4年生以上
- 定員 先着20名
- 費用 2,000円(昼食代他)
- 持ち物 数物、マイカップ、行動食等
- 申し込み 2/1(日)~2/25(水)



ち、ち、近い!!  
前?それとも後ろ??



北緯39度と東経140度のぶつかる場所がこんな田んぼのあぜ道に…?